

DATA FILE



六方晶系

名前	MOSS AGATE (モス・アゲイト) / 苔めのう
化学組成	SiO ₂
色	黒色、青色、褐色、緑色、赤色、白色など
光沢	脂肪光沢
蛍光	青白色 (一部)
条痕	白色
劈開	なし
断口	貝殻状
硬度	6.5
比重	2.6

こけ

苔めのう

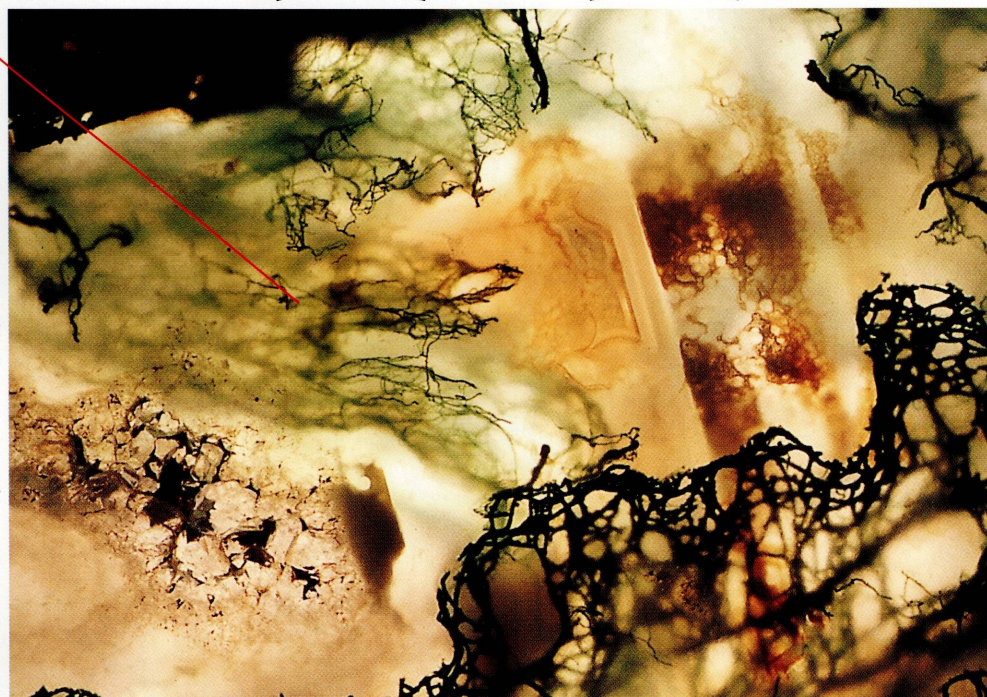
MOSS AGATE

玉髓のなかまで、木の枝や苔のように見える包有物を含んでいる。

紫外線ランプを照射すると青白色の蛍光を示すものがある。

緑色や黒色の包有物が入っている苔めのう。

劈開はないが、ハンマーでたたくと貝殻状の断口を示す。



石英中に黒色、青色、褐色、緑色、赤色、白色などの包有物を含み、脂肪光沢を持つ。

素焼きの陶板にこすりつけると白色の条痕が残る。

樹枝状の包有物を含む玉髄

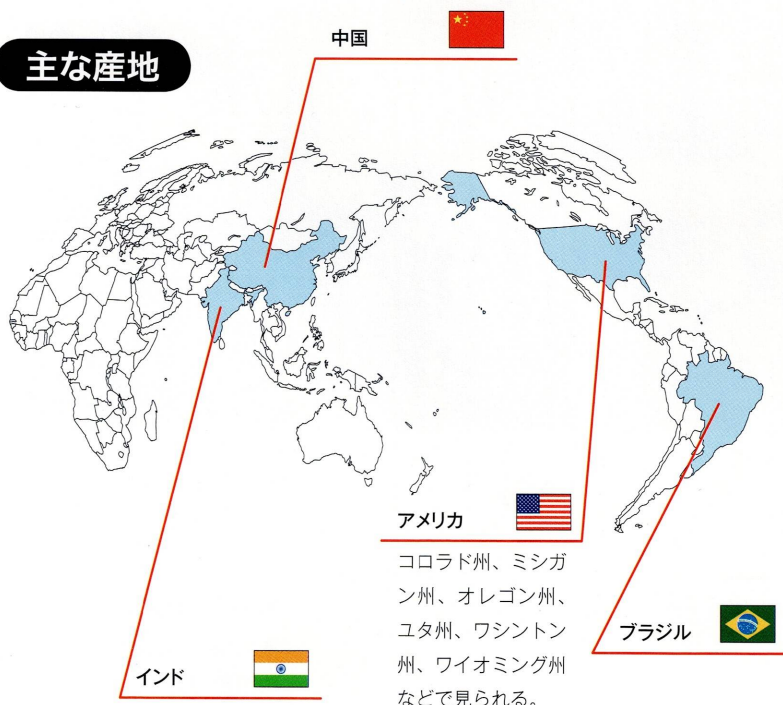
玉髄のなかまで、木の枝や苔の塊のように見える包有物を含んでいるものを「苔めのう」という。白い石英の表面に樹枝状の包有物があるのが特徴で、装飾品に加工する際には天然の包有物を最もよく目立たせるように研磨して、浮き彫りを施したブローチや装飾板などに利用する。また、苔めのうは微細な結晶粒子の間に隙間があるため液体が染みこみやすく、その性質を利用して商品価値を高めるために着色されることがある。

コ
苔めのう

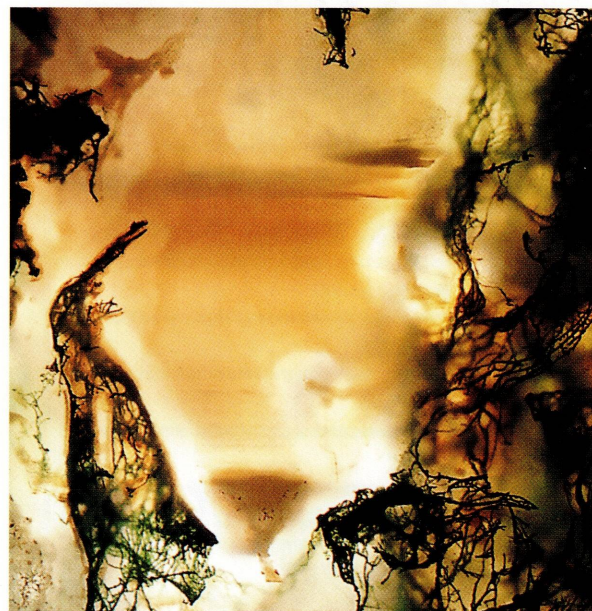


▲縞模様であらわれた苔めのう。

主な産地



▼表面に濃い緑色の樹枝状包有物が入っている。



包有物の正体

苔めのうは玄武岩などの小さな空隙中に生成し、空隙の内側に同心円状や不規則な層で見られる。一般的に含まれる包有物は、マンガン酸化物や角閃石の微小結晶などでできているが、鉄の酸化物や水酸化物によって模様が生じることもある。



▲海藻のように見える包有物を含む苔めのう。